授業科目　ボランティアの世界

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
丸田　秋男	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

日本が市民社会として成熟するに伴い、保健・福祉・文化など公共の利益を自発的に追求し、より良い社会を創造するボランティア活動が活発になり、参加者が増加している。ボランティア活動の意義、歴史、実態等について学習しながら、専門職とボランティアの関係を考える。

【学習目標】

1．ボランティアの意義を理解する。
2．保健・医療・福祉専門職とボランティアの関係を理解する。
3．福祉コミュニティ形成のためのボランティア、ボランティア団体、NPO 等の役割を考える。
4．専門職になるための学習過程におけるボランティア活動の意義を理解する。
5．専門職になってからの能力開発（自己啓発）におけるボランティア活動の意義を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ボランティアの意義：ボランティアの意義を学ぶとともに学生自身のボランティア体験を明確化する。		講義
2	専門職とボランティア：担当教員のボランティア体験と学生のボランティア観を明確化する。		講義
3	地域のボランティア活動：地域のボランティアセンターやボランティア団体の活動について学ぶ。		講義
4	学生のボランティア活動：学生のボランティア活動の現状と課題について学ぶ。		講義
5	ボランティアの理論（1）：ボランティア、ボランティア団体、NPO 等におけるボランティア理論を学ぶ。		講義
6	ボランティアの理論（2）：同上		講義
7	まとめ（1）		講義
8	まとめ（2）		講義

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	使用しない
参考書	随時紹介する
その他の資料	毎時間プリントを配布する

【評価方法】

1．出席　2．提出レポート　3．定期試験を総合して評価する。

【履修上の留意点】

ボランティア活動は本来自発的な活動であるから、受講者は、自発的・主体的に学習してほしい。またボランティア実践を通して他者との直接的な人間関係に責任をもつことの重要性についても体験的に学んでほしい